

特別支援学校

生まれ変わった 寄宿舎玄関

～地元企業との連携による環境整備
(ボランティア養成講座)～

秋田県特別支援学校地域本部 県立栗田養護学校



◇活動の紹介

○活動のねらい

- ・ ボランティアを希望している方々に本校の児童生徒の様子を知らせたり、支援の仕方などを確認することで、安心して児童生徒に接することができるようにする。
- ・ 児童生徒への支援や行事の手伝いをしてくださるボランティアの方を養成する。

○作業日時

平成21年10月15日(木)
9:00～16:30

○作業場所

栗田養護学校 寄宿舎玄関前

○協力してくださった方々

- ・ 秋田建築労働組合 1名
- ・ 地元企業(木曾塗装) 3名
- ・ 寄宿舎生の保護者 3名
- ・ 秋田大学(院)学生 3名
- ・ 地域住民 2名
- ・ 地域コーディネーター 3名

○活動の概要

秋田建築労働組合・地元企業の方々が講師を務め、校外環境整備のボランティア養成講座を行った。内容は学校寄宿舎玄関の塗装作業。講師は地元企業・木曾塗装の木曾さんが務めた。

環境整備は支援ボランティアのみの活動になりがちであるが、今回は寄宿舎生も一緒に作業することにした。そのため、講師の木曾さんは事前の下見を重ね、作業内容を検討。当日も下準備を整え、寄宿舎生との合同作業に備えた。

寄宿舎生の参加は放課後の15:30～16:30の1時間程度となったが、講師の方々の丁寧かつ親切な指導の下、ボランティアの方々とともに楽しみながら作業することができ、仕上がり具合も素晴らしいものとなった。また、木曾さんは、作業をする子どもたちの健康にも配慮し

た、体に優しい塗料を準備するなど、細かな配慮をしてくれた。

寄宿舎玄関がきれいに生まれ変わり、作業に参加した寄宿舎生の中にはよほど愛着があるのか、自分で塗装した部分の壁を優しくなでながら登校する様子が見られる。

◇この活動を行って

○参加者の感想

<支援ボランティアとして携わった保護者の方々>

子どもたちと一緒に作業したことで、我が子以外の子どもとふれあう貴重な機会となった。

<学校職員>

普段対人関係で悩みを抱えている子どもたちも積極的に活動に取り組んでおり、新たな一面を発見することができた。日常の指導に役立てていきたい。

○今後について

<担当教諭 佐藤先生>

他者との関わりに課題のある子どもたちもいるため、現在は寄宿舎を中心とした支援活動に限られている。今後は今回の取組をきっかけとして、他の学部にも活動を広げていきたい。

<田口教頭先生>

今回の環境整備支援は学校支援地域本部事業に取り組まなければ生まれてこない発想であり、学校の教育活動を充実させるものとなっている。

養護学校としての「地域」は広域になりがちである。それを強みと捉え、地元企業・組織・団体と関わることで、活動の幅を広げていきたい。また、地元の高校との連携協力についても検討していきたい。

この取組の意義や効果について職員への啓発を図りながら、子どもが入れ替わっても職員が異動しても、本校に愛着を持ち継続して支えてくれる「学校応援団」を増やしていければと考えている。

秋田県立栗田養護学校
学校支援地域本部事業「くりたっこふれあいクラブ」

やってみませんか？学校支援ボランティア！

栗田養護学校では、8月より学校支援地域本部事業に取り組んでいます。そしてたくさんの方々から心温かいご協力をいただきました。でも、もっともっとたくさんの方々にくりたっこふれあいクラブはほしいと願っています。それは、意外に楽しいかも、学校支援ボランティア！あなたもやってみませんか？



支援ボランティア

学校や寄附会の行事などの際に、子どもたちの支援をしてくださる方。

例：いろいろな行事で子どもたちと一緒に活動する。
例：行事の運営のお手伝いをする。



環境ボランティア

校内外の環境整備のお手伝いをしてくださる方。

例：畑の手入れや樹木の剪定をする。
例：校地の除草や清掃をする。



指導ボランティア

得意な技術や技能をお持ちの方で、子どもたちに指導して下さる方。

例：部活動(サッカー、バスケット、美術)の指導
例：茶道や華道、お菓子作りなど寄附会での余暇時間の指導など

【活動の様子】



支援ボランティア
お菓子作りのお手伝い



環境ボランティア
中庭の除草



指導ボランティア
外壁塗装の指導



指導ボランティア
お茶の入れ方の指導

子どもが好き、子どもたちと一緒に遊びたい、読み聞かせが好き、手品ができる、盆栽や草木を育てることが好き、樹木の剪定ができる、畑仕事が好き、裁縫や手芸が得意、園芸・剪定が好き、調理やお菓子作りが得意、折り紙や絵を描くことが好き・・・など。
この他、栗田養護学校のことをもっと知りたい、お手伝いをしてみたい方など・・・是非ご連絡をください！お待ちしております！

☆ご連絡をお待ちしています☆
【本件の申込・問い合わせ先】秋田県立栗田養護学校 学校支援地域本部（担当：教頭 田口）
電話：018-828-1162 FAX：018-828-4720
e-mail：kikitako@kurita-sakura.ac.jp

やってみませんか？学校支援ボランティア！

秋田県立栗田養護学校「くりたっこふれあいクラブ」

(学校支援地域本部事業)



支援ボランティア

学校や寄附会の行事などの際に、子どもたちの支援をして下さる方。

例：水泳教室やスケート教室など、いろいろな行事で子どもたちと一緒に活動する。
例：運動会や栗田祭などの行事のお手伝い



環境ボランティア

校内外の環境整備のお手伝いをして下さる方。

例：畑の手入れや樹木の剪定
例：外壁などの塗装
例：校地内の除草や落ち葉の清掃



指導ボランティア

得意な技術や技能をお持ちの方で、子どもたちに指導をして下さる方。

例：バスケットボール、サッカー、美術などの部活動での指導
例：茶道や華道、お菓子作りなど寄附会の余暇時間の指導
例：読み聞かせやゲームなど休日の余暇時間の指導

この他にも、子どもたちの前で歌や楽器の演奏をして下さる方や手品や折り紙などの技術や得意なことなどを見せて下さる方を広く募集しています。応募いただいた方は、「くりたっこふれあいクラブ」の会員として登録させていただきます。
ご協力いただける方は、下記の申込書で、担当者へお申し出ください。電話、FAX、郵送、メール、持参など、どのような方法でも構いません。たくさんの方々のご協力をお待ちしております。

＜本件の申込・問い合わせ先＞秋田県立栗田養護学校 学校支援地域本部（担当：教頭 田口）
電話：018-828-1162 FAX：018-828-4720
e-mail：kikitako@kurita-sakura.ac.jp

秋田県立栗田養護学校「くりたっこふれあいクラブ」 学校支援ボランティア申込書

お名前	(ふりがな)	(男・女)	年齢	歳
ご住所	()			
連絡先(電話)				
ご協力頂ける分野	*いづれかに○印をおつけ下さい。(複数可)			
() 支援ボランティア	() 環境ボランティア	() 指導ボランティア		
ご協力頂ける具体的な内容がございましたら、ご記入下さい。				
ご協力頂ける時間帯、曜日等				
学校への要望等				

リーフレットやポスターでボランティアさんを募集しました

学校支援地域本部事業「くりたっこふれあいクラブ」

くりたっこふれあい通信 No. 1

本校では、今年度8月より「学校支援地域本部事業」に取り組んでいます。地域から、『支援ボランティア』『環境ボランティア』『指導ボランティア』をして下さる方々に来ていただき、特色ある教育活動を進めるとともに、地域に開かれた学校を目指しています。まだ始まったばかりですが、ボランティアさんとの活動を紹介します。

支援ボランティア～行事等で子どもたちと一緒に活動し支援して下さる方
環境ボランティア～草取りなど環境整備のお手伝いをして下さる方
指導ボランティア～部活動や授業でのゲストティーチャーとして子どもたちにいろいろなことを教えて下さる方

7月24日(金)

第1回ボランティア養成講座を行いました。2名の秋大生が参加してくださいました。子どもたちについての職員からの話に熱心に耳を傾け、当日夜に行われた「くりたっこふれあい夏祭り」のお手伝いもしてくださいました。



9月26日(土)

第2回ボランティア養成講座を行いました。本校職員による子どもたちについての話のあとに、くりたっこクラブのお手伝いをしていただきました。くりたっこクラブでは「親子でクッキング」ということで、食育ボランティア「すずき さん」を講師にスポンジケーキ作りをしました。



9月30日(木)

PTA奉仕活動にボランティアの方も参加してくださいました。中庭の除草を本校の保護者と一緒に行ってくださいました。



10月15日(木)

第3回ボランティア養成講座を行いました。秋田建築寄附組合のご厚意により、プロの建築家の水谷さんをお招きし、寄附会式開館の外壁の塗装をしました。寄附会生とボランティアの方が協力しながら取り組みました。
建築家の水谷さんは、作業の保護から仕上げまでと、朝早くから夕方まで、作業をしてくださいました。また、作業をする子どもたちの健康に配慮した塗料を選んでくださいました。
是非、寄附会の方に足を運んでみてください。



8月から3ヶ月足らず、まだ始まったばかりの学校支援地域本部事業ですが、このようにたくさんの方々の心温かいご協力を頂きました。ありがとうございます。これからも、よろしくお願いいたします。



「くりたっこふれあい通信」で支援活動を紹介しています！

みんなでつくり上げた 「ゆり養祭」

～学校祭に向けてのボランティアの活動～



秋田県特別支援学校地域本部 県立ゆり養護学校



◇活動の紹介

・活動にあたって

本校では毎年「ゆり養祭」を実施しているが、例年、保護者の力を借りて環境づくりを行っている。今年度、学校支援地域本部事業に取り組むことを機会に、さらに広範囲の方々に協力をお願いすることにした。

○期 間 平成21年10月～

○場 所 ゆり養護学校 校舎内外各所

○対 象 ゆり養護学校児童・生徒

○内 容 「ゆり養祭」等に向けての各種環境づくり

・ボランティアの募集

保護者だけでなく、卒業生の保護者や地域住民の方々に範囲を広げ、募集チラシを配布した。卒業生の保護者等が積極的に参加してくれた。

・ボランティア研修会の実施

ボランティアの方々に参加してもらい、研修会を開催した。本事業の趣旨や取り組み内容について共通理解を図り、今後の見通しをもつことができた。

・小物作り

児童・生徒が祭りの中で使用する小物を作った。細かい作業で、それなりの数が必要とするため、何日かに分けて、少しずつ作るようにした。

・窓の飾りつけ

紙やテープで作った飾りを、廊下の窓に貼った。校内全体となるとかなりの数でこれも時間がかかったが、季節感あふれる素敵な環境ができあがった。

・ゆり養祭当日と記念式典への協力

ボランティアの方々に、高等部の劇の際にお化粧を手伝ってもらった。
また、後日行った10周年記念式典の際にも、環境整備や衣装づくり等で協力してもらった。

◇この活動を行って

○実践者の声

<支援ボランティアから>

- ・本校の子どもたちは自分の子どもと同じ。子どもたちの姿・笑顔を見ることができて、とてもうれしい。
- ・学校・親同士のつながりをずっと大切にしたい。ボランティアとして係わることで、それが可能になる。
- ・卒業した後の親がボランティアとして係わる形が良い。PTAとイコールにならない方が動きやすい。

<子どもたちから>

- ・校内がだんだんゆり養祭ムードになっていて、気持ちが盛り上がった。
- ・ヘアメイクをしてもらった。きれいに化粧してもらい、うれしかった。

<学校の先生方から>

- ・例年職員が行っていた仕事をボランティアの方々に手伝ってもらい、時間を有効に活用することができた。
- ・「みんなでつくり上げた」ということで、子どもたちの意欲付けになった。

○成果、課題

- ・子どもたちの意欲が向上するだけでなく、ボランティアの方々も力をもらえるといた相乗効果が見られた。
- ・ボランティアの方々から、仕事をもっている方々の活動は難しいとの指摘をいただいた。できる範囲で無理なく活動することが、重要であると思われる。
- ・ゆり養祭をきっかけに、他の分野にもボランティア活動を広げていきたい。また、地域住民にも支援活動に参加してもらえよう働きかけていきたい。

●活動のようす●

ゆい養護学校で
ボランティアをしてみませんか？

学校支援ボランティア募集！！



どんなことをするの？
たとえば・・・
ゆい養護学校に向けての校内デコレーション（飾り）作り
花壇や畑の整備
写真舎での清掃活動
登校の見守り など・・・

ゆい養の子ともたちとふれあいながら
ボランティアして下さる方を募集しています！！

＜お問い合わせ・お申込＞
秋田県立ゆい養護学校 学校支援地域本部（担当：教頭 滝澤）
電話：（０１８４）２７－２６３１ FAX：（０１８４）２２－８７０６
ホームページ： <http://www.yui-sakita-c.ed.jp>
Eメール： yuiyou@yui-sakita-c.ed.jp

＜ボランティア募集チラシ＞



＜学校中が“秋”でいっぱいになりました＞



＜みんなで協力し合って作ります＞



＜１０周年記念式典…花植え
式典当日の玄関を彩りました＞



＜１枚１枚慎重に…＞



＜１０周年記念式典…高等部
アトラクションの衣装づくり＞

ペットボトルキャップ・ ベルマークの集計作業

～ボランティア委員会活動への協力～



秋田県特別支援学校地域本部 県立大曲養護学校



◇活動の紹介

○活動の概要

大曲養護学校ボランティア委員会では全校児童生徒に呼びかけ、ペットボトルのキャップとベルマークの収集を行っている。例年職員が行っていたそれらの集計を、学校支援地域本部事業への取組を契機に地域コーディネーターの呼びかけで集まった地域の方々に協力をお願いした。

○作業日時

- ①平成21年11月20日（金）
- ②平成21年12月4日（金）

○作業場所

大曲養護学校会議室

○協力してくださった方々

- ・大曲婦人会……開校当時から交流を図ってきている
- ・地元企業の社員…社員教育の一環として社員5名を大曲養護学校支援ボランティアとして登録
- ・地域の方々………各種サークルや団体を中心に

ペットボトルキャップ800個で東南アジアの子どもの一人分のワクチンとなる。今回の集計作業では、ワクチン22個分の集計が終了した。

これまで職員が放課後に何時間もかけて行っていた作業。なかなか手をつけることができず、いつも後回しになっていたが、今回は支援ボランティアの協力を得て一気に終了！

◇この活動を行って

＜支援ボランティアの方々＞

- ・学んでいる子どもたちの姿を見て、がんばっているなど感動した。この子たちの助けにな

っていることを考えるとやりがいがある。大変楽しい。

- ・これまでは養護学校ということで特別な存在と捉えていたが、そんなことはないという新たな発見ができた。できることは何でもやるので、いつでも声をかけて欲しい。

＜地域コーディネーター 藤井さん＞

- ・地域の方々に協力を依頼すると快く引き受けてくれ、うれしく思っている。
- ・まだ自分が対応できる支援活動の範囲でしかボランティア要請ができていない。専門的な部分での要請が来たときに不安がある。協議会メンバーに協力を求めながら、支援活動のバリエーションを増やしていきたい。

＜担当教諭 佐貫先生＞

- ・私たち教師側は「感謝」の一言に尽きる。負担軽減に直結し、その子どもたちの指導準備に時間をかけることができている。何よりも藤井コーディネーターの存在が大きい！
- ・当初「自分たちがやらなければ」と思っていた職員も「任せるところは任せる」と上手にやりくりできるようになってきている。この気持ちの変化が非常に大きい。
- ・この地域本部の取組をきっかけに、現在取り組んでいる活動を充実させ、さらにメニューを広げていきたい。

＜大日向校長先生＞

- ・この取組をとoshi、「地域の学校」であることがいかに大切かを実感している。本校は開校自体が地域が求めているのもであり、もともと地域はことあるごとに気にかけてくれていた。学校と地域の関係が年月をかけて熟成してきているからこそ、これを機会にもう一度原点に立ち返り、地域の学校としてのねらいの再確認をしたいと考えている。

●活動のようす●

学校支援人材ボランティアの登録をお願いしました

学校支援地域本部事業

大曲養護学校支援人材ボランティア 登録者募集

秋田県立大曲養護学校

下記の活動にご協力いただける方を募集します。
ぜひ、登録をお願いします。

あなたの力を
かしてください

※活動場所：秋田県立大曲養護学校
〒014-0072 秋田県大曲市大曲西横字下成沢122

学習支援活動

- 学校行事への協力
- 学習帳での記録や道具作り等
- 児童生徒への読み聞かせ
- さつまいも作り
- 折り、スキームで指導・支援
- 児童生徒用図書収集

安全管理活動

- スクールバスの乗降
- バス待ち時間での読み聞かせ等
- クリーンアップでの安全面の支援

環境整備活動

- 校内外の清掃
- 校内花壇への水やり
- 学校周辺の枯れ枝の除去、剪定

※問合せ先

秋田県立大曲養護学校
TEL: 0187-68-4123
FAX: 0187-68-4122
メールアドレス: kyokuyoso@omagari-sakita-c.ed.jp

Q & A

ボランティアについて
教えてください！

どんな人が登録できるの？

どなたでもできます。免許や資格は必要ありません。なお、未成年者は登録に保護者の同意が必要です。
グループで活動される場合は、代表者・会員名も登録してください。

申し込み方法？

〈学校支援人材ボランティア登録書〉に必要事項を記入して、大曲養護学校に直接持参、郵送、FAX等で申し込みください。
★ホームページからもダウンロードできます。
<http://www.omagari-sakita-c.ed.jp/index.html>

登録期間？

毎年度、自動更新となります。
ただし、申し込めばいつでも登録の取り直し、変更ができます。

登録するとうるの？

登録の際に記入いただいた活動希望内容や活動できる時間帯に配慮し、コーディネーター又は学校担当者から活動の日、時間について連絡調整を行い、その後、活動していただくことになります。

服装などは出るの？

活動に係る費用は、原則として無償となります。ボランティア活動中の事故によって被った被害については、原則としてボランティア活動保険の範囲内において補償することとなります。

登録後の変更や取り直しはどうしたらいいの？

住所等の変更や登録の取り直しについては、電話やメールで問い合せん。

個人情報の取り扱い？

登録者の情報は、個人情報の保護に十分配慮し、適正に取り扱い、一般には公開しません。

第一次締め切り 9月14日 以後随時

小学部の児童が下校のバスを待つ時間を利用して支援活動を行っています



<紙芝居>



<絵本の読み聞かせ>



<手品>

他にもいろいろ協力してもらっています



<窓ふき作業>



<美術学習支援>

P T Aを中心にした 校地内環境整備活動

～みんなが大好きな
どんぐり山がきれいになったよ！～



秋田県特別支援学校地域本部 県立横手養護学校



◇活動の紹介

○活動の概要

横手養護学校の裏山は、「まいたけ」「くわがた」「栗クリ」「どんぐり」の4種類の散策路が設けられ、児童生徒が身近に自然を体験できる美しい山となっており、「どんぐり山」の愛称で親しまれている。

例年P T Aの保護者の協力を中心に行っているどんぐり山の草刈り活動ではあるが、今年度は保護者以外のたくさんの方々の協力を得て、整備作業を行った。

○作業場所と作業内容

横手養護学校の裏山：通称「どんぐり山」の草刈りと校庭花壇の整備

○活動日時

平成21年8月23日（日）
9：00～12：00

○協力してくださった方々

- ・ P T Aの保護者の方々
- ・ 「やまなみの会」…おやじの会O B
- ・ 卒業生の保護者
- ・ 「支える会」…歴代P T A会長、旧職員等で組織

☆職員も含め、総勢80名を超える方々の協力を得ての作業となった。

○活動の様子

当日は、軽トラック10台、草刈り機15台が集結。どんぐり山斜面の草刈りと古いスローガン看板の撤去。

同時に花壇の除草作業も実施。



◇この活動を行って

○参加者の感想

<支援ボランティアから>

- ・ 子どもたちのためにきれいにできて気持ちよかった。
- ・ もっと別のことで協力できると思うので、声をかけて欲しい。
- ・ 教職員と同じ時間を共有し、作業を通じていろいろなお話ができてうれしかった。

<学校の先生方から>

- ・ 普段接する機会のない他学部の保護者の方々と交流でき、有意義だった。
- ・ 共に作業をして、さらに連携が深まったように思う。

○今後の展望

<教頭先生から>

- ・ これまではP T Aの保護者の方々が中心であったが、様々な方々から協力してもらい、「職員理解」「学校理解」につながる活動となった。
- ・ 活動がきっかけで広がったネットワークにより、高等部生徒の職場体験の実習先が新たに見つかったり、就労活動に広がりが出たりと、連携の輪がさらに広がりがでるという効果を実感している。
- ・ 学校は活動を支援してもらうだけではなく、児童生徒が学校前を通る国道のクリーンアップ活動を行ったり、どんぐり山に隣接するぶどう園に出向き袋がけを手伝ったりと地域への貢献活動も積極的に行っている。
- ・ 課題として、学校の情報を地域に発信していくことが重要である。学校近隣の地域にもっと学校をP Rし、学校の存在や子どもたちの実態を地域の方々に知ってもらいたいと思っている。
- ☆「つながりがつながりを呼ぶ」ということを意識し、本事業の取組を活用しながら地域との効果的な連携方法を探っていきたい。

●活動のようす●

◇校地内環境整備活動の様子



「がんばれ！」看板設置
作業中です。



横手養護シンボル「風の翼」

◇ボランティア募集パンフレット

平成21年12月

地域の皆様へ

秋田県立横手養護学校長

～ 横手養護学校では、学校支援ボランティアを求めています。～

横手養護学校では、子供たちの教育活動に対する学校支援ボランティアを募集しています。
本校の地域にお住まいの方で、長年の経験や熟練の技術を本校の子供たちのためにご提供していただきたいと考えています。
豊富で高度な教育力をぜひ学校教育の場に生かしていただき、地域ぐるみで本校の子供たちを支援していただければと考えています。

横手養護学校が探しているボランティア

- | | | |
|-------------------|----------------------|-----------------|
| 1 本の読み聞かせ・昔語り | 2 昔のあそび、伝承あそび | 3 そり遊びスロープ作り、除雪 |
| 4 かまくら作り、スキー技術指導 | 5 PTA活動への協力 | 6 「どんぐり山」の環境整備 |
| 7 花壇整備、除草 | 8 学校行事への協力（運動会、横養祭等） | 9 登校・下校時の安全指導 |
| 10 その他 本校に協力できること | | |



「楽しいよ～！！」



「高等部校舎です！」



「小・中学部校舎です！」

できる人が！
できる時に！
できることを！



申し込み・問い合わせ先



秋田県立横手養護学校

「学校支援地域本部」 担 当 教 頭 田 中 啓 悦 まで

*ボランティア活動期間 平成21年12月10日～平成22年3月18日まで

*ボランティア募集締切 平成22年 1月29日まで

(期間が過ぎても随時、受付をしております。)

〒013-0064 横手市赤坂字仁坂105-1 TEL0182(33)4166, 0182(33)4167

FAX0182(33)4266, 0182(33)4277